

# 大阪府工業指数2022年8月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

#### (1) 生産指数…99.3 前月比 8.6% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、生産用機械工業など 9 業種が上昇し、金属製品工業、窯業・土石製品工業など 5 業種が低下した。

品目別にみると、医薬品、超硬工具等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、1.1%と9か月ぶりの上昇となった。

#### (2) 出荷指数…94.6 前月比 4.3% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、生産用機械工業など 8 業種が上昇し、汎用・業務用機械工業の 1 業種が横ばいとなり、輸送機械工業、電気・情報通信機械工業など 5 業種が低下した。

品目別にみると、医薬品、超硬工具等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、2.8%と9か月ぶりの上昇となった。

#### (3) 在庫指数…104.7 前月比 0.8% 4か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業など 5 業種が上昇し、金属製品工業、化学工業など 8 業種が低下した。

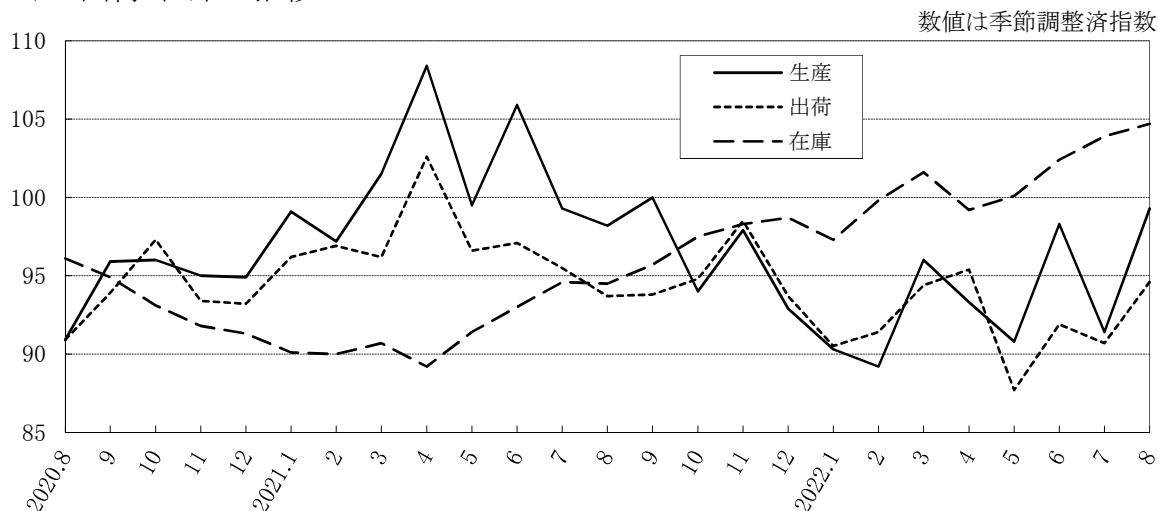
品目別にみると、鋼半製品、乾電池等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、10.8%と12か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2022年 7月	91.4	▲ 7.0	92.5	▲ 8.0
	2022年 8月	99.3	8.6	90.2	1.1
出 荷	2022年 7月	90.7	▲ 1.3	91.0	▲ 6.8
	2022年 8月	94.6	4.3	88.9	2.8
在 庫	2022年 7月	103.9	1.5	105.8	9.9
	2022年 8月	104.7	0.8	105.5	10.8

### 生産・出荷・在庫の推移



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 8.6% 上昇 9業種  
 低下 5業種  
 横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	化学工業	6.020	26.9	医薬品、合成アセトン
	生産用機械工業	2.254	18.5	超硬工具、ショベル系掘削機械
	汎用・業務用機械工業	0.450	5.6	汎用内燃機関、ポンプ
	食料品工業	0.211	2.4	ビール・発泡酒、チョコレート
	その他工業	0.186	3.4	工業用ゴム製品、木製家具
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.172	2.4	鉄鋼切断品、アルミニウムはく
	電子部品・デバイス工業	0.103	12.7	アクティブ型液晶パネル
	プラスチック製品工業	0.088	2.1	プラスチック製フィルム・シート プラスチック製日用品・雑貨
	電気・情報通信機械工業	0.031	0.3	アーク溶接機、標準変圧器
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】 酸化エチレン【化学工業】
低下	金属製品工業	▲0.555	▲6.2	飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	窯業・土石製品工業	▲0.184	▲13.4	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	輸送機械工業	▲0.163	▲2.3	小型乗用車、シャシー・車体部品
	石油・石炭製品工業	▲0.027	▲1.6	アスファルト、ガソリン
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.005	▲0.3	雑板紙
	その他の低下した品目			個装・内装機械【生産用機械工業】 バンディングマシン【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	医薬品	化学工業
	2	超硬工具	生産用機械工業
	3	合成アセトン	化学工業
	4	鉄道車両部品	輸送機械工業
	5	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	6	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	7	酸化エチレン	化学工業
	8	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	9	フェノール	化学工業
	10	化学機械	生産用機械工業
低下	1	個装・内装機械	生産用機械工業
	2	小型乗用車	輸送機械工業
	3	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	4	バンディングマシン	生産用機械工業
	5	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	6	一般用バルブ・コック	汎用・業務用機械工業
	7	無アルカリガラス基板	窯業・土石製品工業
	8	プラスチック用金型	生産用機械工業
	9	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	10	パッケージ形エアコン	汎用・業務用機械工業

## (2) 出荷

前月比

4.3%

上昇 8 業種  
 低下 5 業種  
 横ばい 1 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	3.329	25.1	医薬品、エチレン
	生産用機械工業	0.875	7.8	超硬工具、化学機械
	金属製品工業	0.470	5.2	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	その他工業	0.358	6.9	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下) マーキングペン
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.252	2.1	普通鋼H形鋼、鉄鋼切断品
	食料品工業	0.201	2.4	ビール・発泡酒、食用油脂
	石油・石炭製品工業	0.150	1.6	重油、ナフサ
	電子部品・デバイス工業	0.035	6.5	電子回路基板
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】 プロピレン【化学工業】
横ばい	汎用・業務用機械工業	0.000	0.0	-
低下	輸送機械工業	▲0.939	▲9.5	小型乗用車、完成自転車
	電気・情報通信機械工業	▲0.360	▲4.8	電気冷蔵庫、セパレート形エアコン(室外)
	窯業・土石製品工業	▲0.156	▲12.3	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	プラスチック製品工業	▲0.061	▲1.4	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.012	▲0.8	段ボール原紙
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

## (3) 在庫

前月比

0.8%

上昇 5 業種  
 低下 8 業種  
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	1.137	6.2	乾電池、LED器具(除. 自動車用)
	汎用・業務用機械工業	0.526	4.9	汎用内燃機関、冷凍・冷蔵ユニット(除. 輸送機械用)
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.277	1.2	鋼半製品、銅荒引線
	生産用機械工業	0.203	10.7	装輪式トラクタ
	輸送機械工業	0.037	1.7	完成自転車
		その他の上昇した品目		
低下	金属製品工業	▲0.753	▲7.1	産業用アルミニウム製品、飲料用アルミニウム缶
	化学工業	▲0.466	▲3.1	合成アセトン、ポリビニルアルコール
	石油・石炭製品工業	▲0.199	▲6.5	重油、ジェット燃料油
	その他工業	▲0.090	▲1.6	繊維板・パーティクルボード、医療・衛生用ゴム製品
	窯業・土石製品工業	▲0.088	▲7.6	無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	食料品工業	▲0.067	▲1.8	食用油脂
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.062	▲3.8	段ボール原紙
	プラスチック製品工業	▲0.028	▲0.8	プラスチック製フィルム・シート、発泡プラスチック製品
	その他の低下した品目			蛍光灯【電気・情報通信機械工業】 鍛鋼品【鉄鋼・非鉄金属工業】

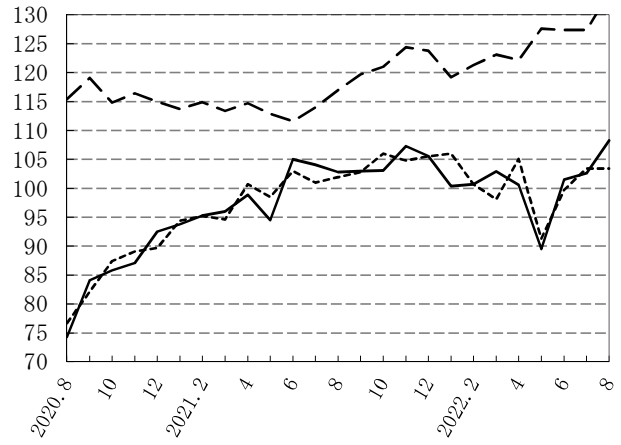
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 3 業種分類別の推移

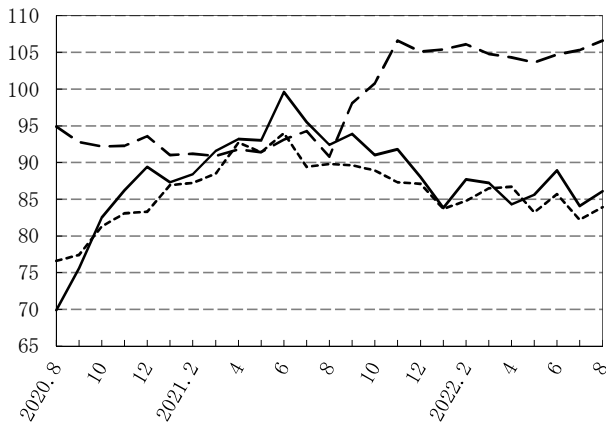
数値は季節調整済指数  
2015年=100

生産 ————  
出荷 .....  
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



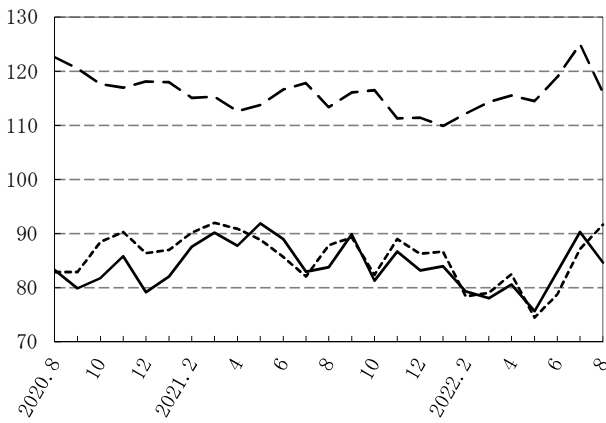
鉄鋼・非鉄金属工業



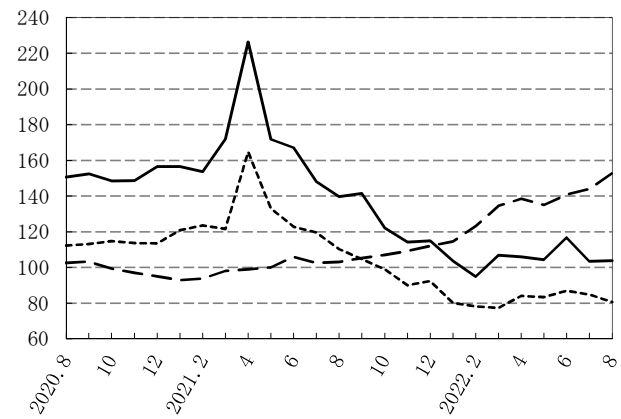
電子部品・デバイス工業



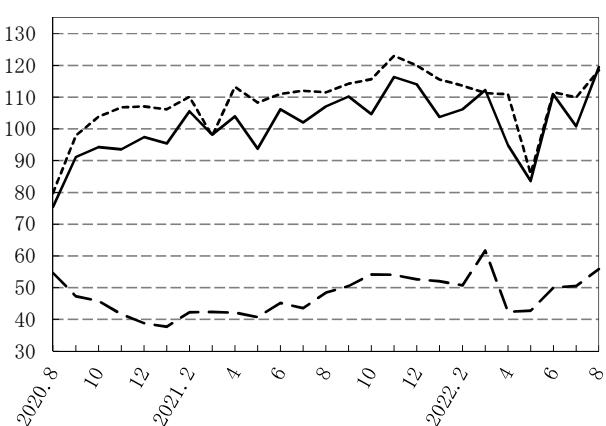
金属製品工業



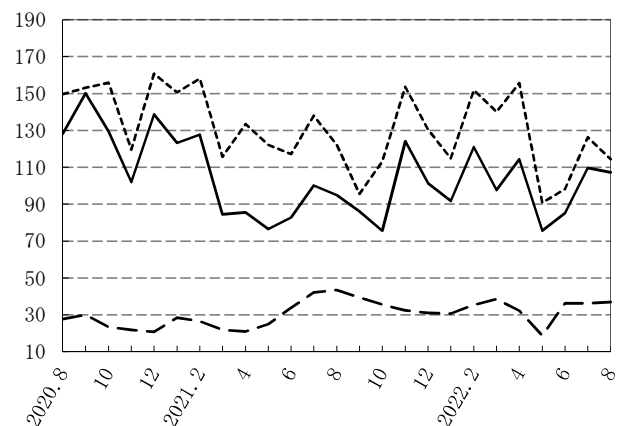
電気・情報通信機械工業

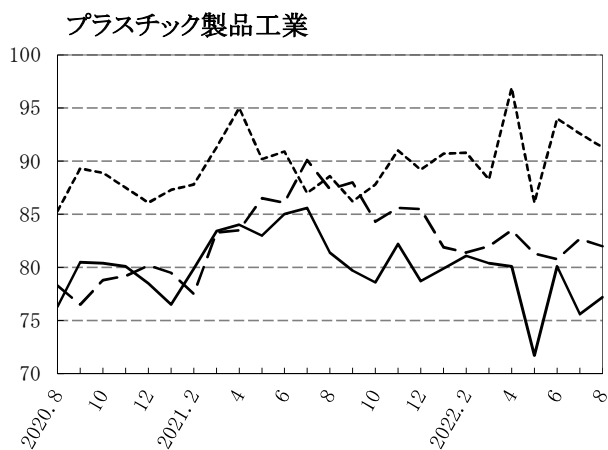
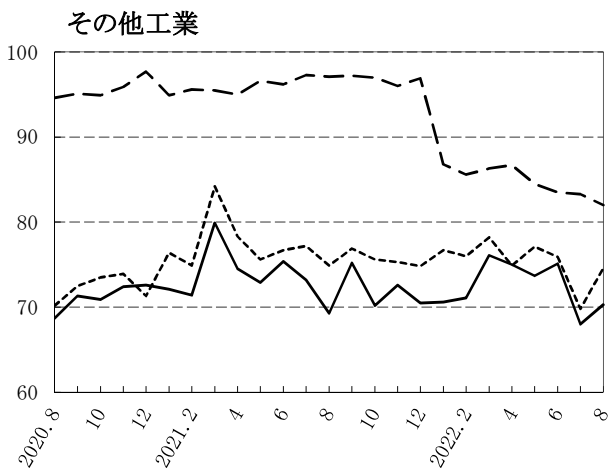
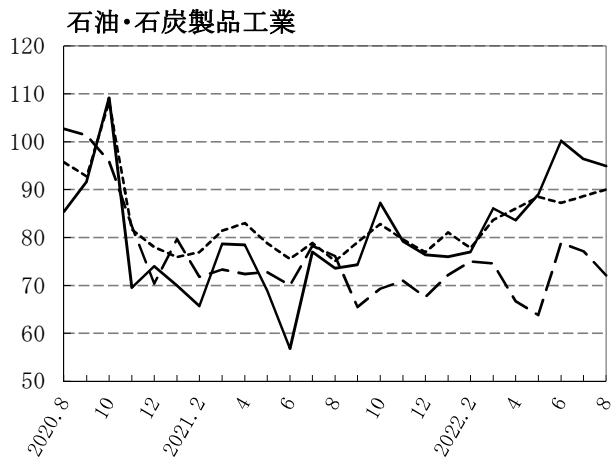
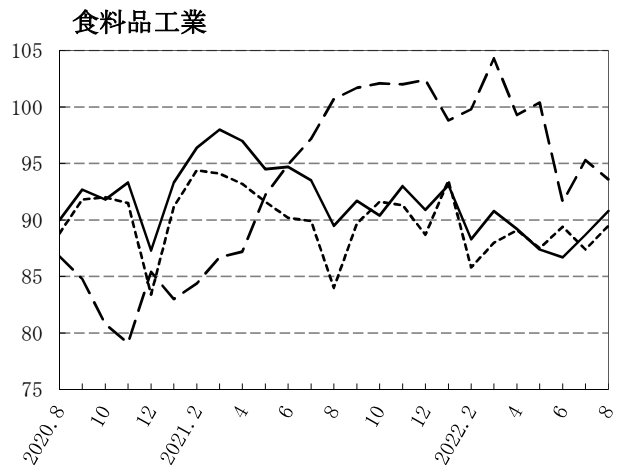
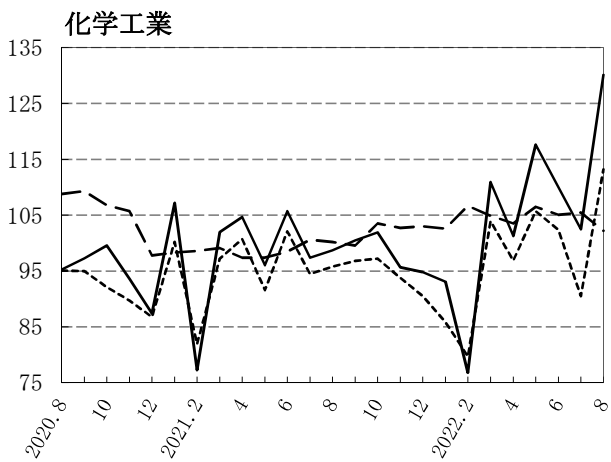
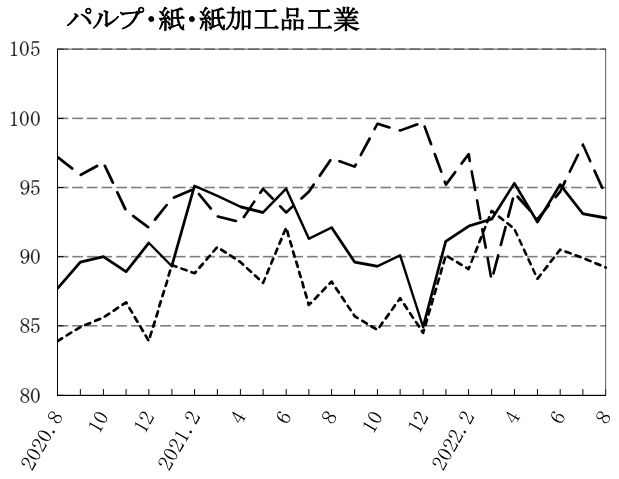
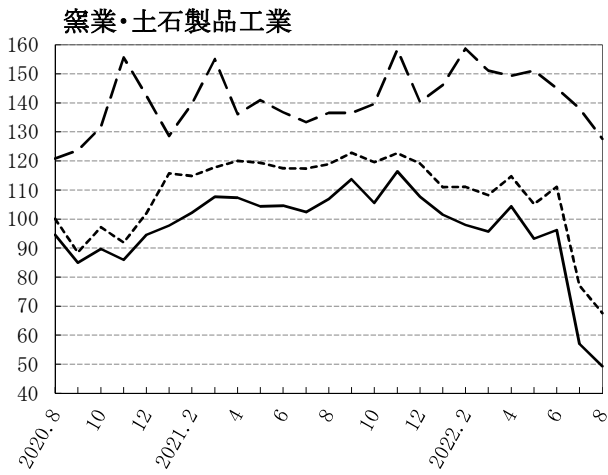


生産用機械工業



輸送機械工業





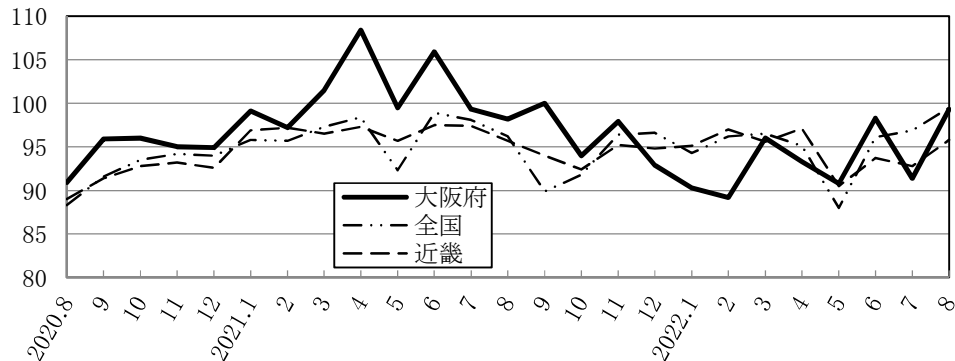
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	99.3	8.6	99.5	2.7	95.8	3.2
出荷	94.6	4.3	96.6	1.9	93.9	2.7
在庫	104.7	0.8	101.6	1.4	104.5	1.3

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

### 3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2022年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)